

事業番号	131
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	高齢者虐待防止事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	長寿介護課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		13 高齢者福祉		2 高齢者の地域での生活を支援する				
		副目的									
	予算区分	款	3	項	2	目	1	大	3	中	9
	根拠法令・個別計画	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	高齢者虐待の防止、高齢者虐待を受けた高齢者に対する迅速かつ適切な保護及び養護者に対する適切な支援を行い、高齢者の在宅生活の継続を図る。									
	内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待緊急短期入所 虐待を受けている高齢者を一時的に保護する。 ・高齢者虐待ネットワーク 連絡会議 1回 委員による連絡会議及び担当者会議を開催し、虐待を受けた高齢者等に対して適切な支援を行うため、関係機関等との連絡会議を定期的に行う。通報受付事務、地域包括支援センターとの連携、会議に関する事務等がある。 ◆24年度直接経費の内訳 短期入所委託料 312千円 その他連絡会議委員謝礼等 46千円 ◆25年度直接経費の内訳 短期入所委託料 368千円 その他連絡会議委員謝礼等 121千円 									
	受益者負担	有 高齢者虐待緊急短期入所は、費用に対し約1割の負担あり。									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	436	265	358	489	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,066	1,066	1,066	1,066
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	1,502	1,331	1,424	1,555		
	対前年比	%		88.6	106.9	109.1		
財源	一般財源	千円	1,456	1,283	1,318	1,537		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	46	48	106	18		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	高齢者虐待ネットワーク会議	回	目標	1	1	1
実績				1	1	1	
高齢者虐待ネットワーク担当者会議		回	目標	10	12	12	12
			実績	12	12	12	
			目標				
			実績				
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	連絡・相談のあった被虐待者数	人	目標	—	—	—	—
実績			28	24	21		
緊急短期入所者数	人	目標	—	—	—	—	
		実績	4	4	3		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	虐待ネットワーク会議を計画通り開催し、情報共有を図ることが出来た。また、高齢者虐待の防止、高齢者虐待を受けた高齢者に対する迅速かつ適切な保護及び養護者に対する適切な支援を行い、高齢者の在宅生活の継続を図ることができた。				
		事業実施における課題	今後、認知症高齢者の増加が予想されるので、認知症に対する理解の不足から生じる虐待を防止していく必要がある。虐待が発生し、保護をすべきときに、連続して入ることの出来る施設がない。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	今後増加すると見込まれる高齢者虐待を受けた高齢者等に対する迅速かつ適切な支援ができないケースが生じる。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	昨年に引き続き、認知症に対する理解の不足から生じる虐待を防止するため、認知症に対する知識の普及を図る。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	今後の高齢社会において、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援する必要があるため。					
	26年度以降の改善案	引き続き、認知症に対する理解の不足から生じる虐待を防止するため、認知症に対する知識の普及を図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。